

◆単元のポイント

○やる気いっぱいの2年生に

2年生の子供たちは、行動範囲が広まり、友だちとの交流もだんだん活発になってきます。そんな子供たちだからこそ、これまでの活動経験を見直し成果をまとめる活動をさせることで、もっとこんなこともできそうだという自分への期待が生まれるようにします。

○大好きなキャラクターに挑戦！！

学級目標「チャレンジ」という合言葉とともに、チャレンジくんというキャラクターを設定しました。チャレンジくんにこれまでの自分たちのがんばりを見せようという思いが、今までの活動を振り返るきっかけとなります。継続的な活動の中から生まれる個々の思いを大切にしながら、「こんなことをがんばった」「こんなことをしてみたい」というチャレンジテーマを決定し、活動に向かわせることが大切です。

○チャレンジウィークへ向けて

チャレンジテーマはチャレンジウィークという、他学年や親などの他者とかがかわれる場を設定して発表させます。活動が充実していくと、子供たちは、自分のがんばりを見てもらいたい、教えてあげたいという気持ちになっていきます。それを認めてもらったり、友だちのがんばりに気づいたりすることによって、さらに活動を充実させていくことができます。

この活動では、自分の決めたテーマに向かい、自分なりのスピードで活動することを保障しているので、活動の進み具合にはばらつきがみられます。自分の課題への取り組みを充実させ、子供自身が見せたいと思う時期を待つことができるように、発表の期間も十分に保障しています。

◆単元の目標

○自分の学習や生活の様子を振り返り、めあてをもち挑戦しようとする。
(関心・意欲・態度)

○「チャレンジテーマ」を自分で選び、その成果を工夫して表現する。
(思考・表現)

○自分の成長や、友だちの良さに気付く。
(気付き)

◆単元の構想（8時間扱い）

春

さあ、2年生だ！
探検隊、出発！！
種まきをしたね。

いろいろなことが
できたね！
〇〇が一番
心に残っているよ

夏

お店に行ったよ
ザリガニにさわれたよ
ミニトマトになったよ！

年間を通して、自分の活動に自信を
もてるような支援をする。

チャレンジテーマを決めよう

がんばったことを
見てほしいな
聞いてほしいな

絵本

新聞

あれ、ここは
どうだったかな

図鑑

カルタ

模型

友だちと
協力しよう

実物作品

カード

チャレンジくんに
負けないように
練習だ

チャレンジウイークで発表しよう

秋

北大の木々の
色が変わったよ！
北九条祭りどうしよう。
枝豆やポップコーンが
できたよ。

すごいでしょ！
後期は〇〇にチャレンジだ

家族や他学年に自分の
取り組みを発表し、良さ
に気付く機会を創る

寒くなったね。

地下鉄で雪祭りに行こう。
1年生をリードするよ。
大きくなったなあ。

冬

◆実践するにあたって

この単元は、それまでの継続活動が充実していて、初めて活動を振り返ろうという思いをもたせることができます。そこで大切なのは、ひとつひとつの活動を教師と子供が共感的に見つめるという姿勢です。また、個人の思いを大切にするために、カード掲示の方法や、次の活動へ見通しをもたせるための環境構成を工夫していくことが大切です。